

須磨海浜公園・須磨浦公園

- 所在地／須磨海浜公園：神戸市須磨区若宮町、須磨浦通 / 須磨浦公園：神戸市須磨区一の谷町、西須磨
- 規模／須磨海浜公園：幅 0.06km、長さ 1.3km、面積 3ha、樹齢 100 年以上
須磨浦公園：幅 0.05～0.4 km、長さ 1.3km、面積 19.5ha、樹齢 100 年以上
- 指定／都市公園、近郊緑地保全区域、第 2 種風致地区
- 問合せ／神戸市建設局公園砂防部管理課整備係 電話 078-322-5420
財団法人 神戸市公園緑地協会公園部公園緑地課 電話 078-795-5656

兵庫県



立地環境

摂津・播磨の旧国境になる鉢伏山の南側の急斜面と平坦地からなる公園で、松原は瀬戸内海・明石海峡に面した平坦部にあります。

松原の今昔物語

明石海峡を望む歴史と景勝の松原

現在の須磨海浜公園から須磨浦公園にいたる「須磨の松原」は、江戸中期の「摂津名所図会」にも白砂青松の名所として紹介されています。須磨浦公園は、大正から昭和にかけて、昭和天皇御成婚記念などとして払い下げられた御料林をもとに昭和 10 年に開設。源平の古戦場として伝えられ、「戦の浜」とも呼ばれます。昭和 30 年頃、国鉄の複々線化、国道 2 号線の拡幅の際には、大木になっていた老松を、苦心の末に相当数山側に移植しました。また、須磨海浜公園は、神戸市に寄贈された住友別邸跡をもとに、昭和 26 年 3 月に開園。公園内には旧住友別邸の面影を残す石垣や門柱が今も残されています。

海岸の松は西北の風が強いため、枝は南東に向かい、磯馴れ松と呼ばれています。このことは古くから和歌にうたわれ、都に帰った在原行平をしのいで枝が東になびいているのだとも伝えられます。

COLUMN

鉄拐山、鉢伏山を含む傾斜地と瀬戸内海に挟まれた風光明媚な須磨浦公園は、万葉の時代から多くの歌人に親しまれています。園内には多くの句碑があり、昔の面影を感じさせてくれます。海浜公園には、水族園やヨットハーバーなどもあり、長汀白砂、老松に囲まれた広場など、施設・風致に恵まれた景勝の地で、夏は海水浴、春秋は海岸での魚釣り、遊歩道の散策など四季を通じて賑わいを見せます。

ACCESS

- 電車やバスの場合
海浜公園：JR 山陽本線須磨駅、山陽電鉄本線月見山駅より徒歩 10 分
須磨浦公園：山陽電鉄本線須磨浦公園駅下車
- 車の場合
阪神高速道路神戸線「若宮」I.C. 下車または第二神明高速道路「須磨」I.C. 下車 10 分
駐車場有り

